

進路だより



第2号

令和4年7月15日(金)

進路指導部発行

1学期は、進路に関する行事が数多く行われ、中学部では、第Ⅰ期校内実習、高等部では、第Ⅰ期産業現場等における実習と校内実習がありました。生徒は仕事の楽しさや大変さ、難しさなどを体験しています。この実習で学んだことを学校生活に生かし、自分の進路や卒業後の生活に向かって必要な力を身に付けることができるよう指導、支援に努めて参ります。小学部では、地域との交流及び共同学習、校外学習、行事などを通してキャリア教育に取り組んでいます。1学期もあと少しです。貴重な体験や経験で学習したことを振り返り、しっかりまとめをしていきたいと思ひます。

2学期の進路指導の予定

	9月	10月	11月	12月
小学部		○進路だより3号発行	○進路に関する学習 <中学部校内実習見学> (6学年)	○保護者会(進路情報) ○進路だより4号発行
中学部		○進路だより3号発行 ○就業・生活体験学習 (3学年)	○進路に関する講話 (高等部職員による) ○就業・生活体験学習 (3学年)	○保護者会 (実習について・進路情報) ○進路だより4号発行 ○高等部作業学習見学
高等部	○産業現場等における 実習説明会 (高1保護者) ○第Ⅱ期産業現場等 における実習(高3) ※B型利用希望者の就 労アセスメント実施 (市町村主催)	○進路だより3号発行 ○障害者就職面接会	○第Ⅲ期産業現場等にお ける実習・校内実習 (高全学年) ※B型利用希望者の就労 アセスメント実施 (市町村主催)	○先輩の話を聞く会 (高全学年) ○保護者会 (実習について・進路情報) ○進路だより4号発行 ※B型利用希望者の就労 アセスメント実施 (市町村主催)

会津支援学校在学中に身に付けてほしい力

「アフターケア」(高等部卒業後の追指導)で事業所の方からいただいた声を紹介します。

生活介護事業所

○職員の数が少ないので、1対1の対応は難しい。歩行が可能な生徒は、手をつながなくても一人で歩けるようになって欲しい。
○決められた場所を勝手に飛び出したり、いなくなったりしないようにして欲しい。
○しばらくの間、集中して取り組むことができるような好きなことを見つけて欲しい。

就労継続支援B型

○職員の数が少なく、身辺処理(トイレの拭き取り等)の補助は難しいので、自分で身辺処理ができるようになって欲しい。
○食品や下請けの商品を扱うことが多いので、顔や頭を触るなどの衛生面の課題を改善できるように欲しい。
○長い時間集中して活動に取り組む力を身に付けて欲しい。

一般就労

○仕事を覚えてきたら、指示を待つだけでなく、周囲の様子を見ながら自分から動けるようになってほしい。丁寧さだけでなく、スピードも意識して欲しい。
○話し掛けられるのを待つだけではなく、自分から話せるようになって欲しい。
○注意をされてもずっと落ち込まずに、気持ちを切り替えて欲しい。

高等部第Ⅰ期産業現場等における実習 校内実習

高等部2・3年生を対象に、6月6日(月)から17日(金)の10日間、産業現場等における実習を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響が続き、昨年度同様に受け入れが厳しい状況になりましたが、多くの企業や福祉事業所などの協力により、無事に実習を行うことができました。様々な体験を通して学習したことや課題点などをしっかりと確認し、学校生活や次の実習に生かしていくことができるように努めて参りますので、今後とも御協力をよろしくお願いいたします。



いいで工房
(就労継続支援B型)



ふくしの家
(就労継続支援B型)



こもれば
(生活介護事業所)



コープ会津
(一般就労)

校内においても「会津工場」として1年生を中心に実習を行いました。外注の作業では、(株)ダブルオー・コーポレーションの「すだれの袋詰め(100円ショップの下請け)」、割烹田季野の「箸袋折り、箸入れ」、(株)江川米菓の「シール貼り」、障がい福祉サービス事業所キッチンモモの「箸入れ」を行いました。また、その他にもペットボトルリサイクルの活動も行いました。1年生にとっては初めての実習であり、いつもと違った雰囲気によって圧倒された生徒も多くいました。工場内には工場長がいて、自分の作業が終わると「検品」をしてもらいます。作業中の静かさや報告の仕方等、緊張感のある実習となり、事後学習でも生徒一人一人から多くの反省が出されました。次回の実習は校外での現場実習を目指します。今回の反省を生かして、様々な場所で自分の力を試してほしいと思います。



中学部第Ⅰ期校内実習

6月6日(月)から10日(金)までの5日間、中学部では第Ⅰ期校内実習が行われました。実習内容は、①菓子箱おり、②アイス蓋へのシール貼り、③箸の袋折りと箸入れなどの外注系の作業、④クリップの仕分けやボールペンの組み立てなどを行う組立分解、⑤新聞を折って、ゴミ袋の形成を行う自立活動を主とした活動班の5班に分かれて実施しました。外注系の作業では、地域の企業に協力を得て実施されることもあり、生徒も教師も衛生面を保つことや丁寧に材料を扱うこと等を意識して取り組みました。また、1年生にとっては初めての実習でしたが、最後まで取り組むことができました。各班、最終日には「集中してできました。」「時間が長くて大変だった。」「報告ができるようになりました。」といった反省が聞かれました。11月には第Ⅱ期校内実習が予定されております。今回の改善点を受けて、成長した生徒たちの姿が再び見られるよう取り組んでいきたいと思います。

